

授業科目名	災害看護論(2300236)		
時間割名	災害看護論(53210)		
時間割担当	新谷奈苗		
実施期	後期	単位数	1 選択
曜日・時限	金・3～4		

授業の目標・概要

阪神淡路大震災や東日本大震災などの大規模災害における看護活動を学び、災害が人々の生活と健康、地域社会に多大な影響を及ぼすことを理解する。災害という異常事態のなかで、さまざまな機関が取り組む救護活動の全体像から、災害サイクルや災害現場に即した災害看護の果たす役割を理解する。

学習の到達目標

1. 発生する大規模災害の現状と課題について説明できる。
2. 災害看護の歴史を理解する。
3. 災害の概念、災害時の人々の生活と健康障害、地域社会への影響について理解する。
4. 災害時に必要とされる看護について説明できる。
5. 災害時に自分や家族を守るための自己防災および地域防災の重要性とその実際を理解する

授業方法・形式

講義形式とグループ演習による授業を実施する。

授業計画

- 第 1 回 講義 近年における国内の大規模災害の現状と課題
- 第 2 回 講義 災害の概念、災害看護の歴史
- 第 3 回 講義 災害サイクルから視る災害医療（トリアージ、CSCA3T、DMAT、災害拠点病院）
- 第 4 回 講義 災害サイクルに応じた災害看護の役割
（トリアージ、救護所・避難所の立ち上げと傷病者対応、仮設住宅での健康生活支援、復興期のかかわり）
- 第 5 回 第 6 回 （演習）
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター見学
- 第 7 回 災害時に自分や家族を守るための自己防災
- 第 8 回 まとめ・発表

成績評価の基準

定期試験 80% レポート 20%を総合して評価する。

準備学習・復習及び授業時間外の課題

災害に関する新聞記事やテレビ等の映像により、今、被災地で起こっている生活上の問題に興味を持ち、その対策について看護の視点から考える。

履修上のアドバイス及び留意点

災害は身近にあります。日頃から災害に関する情報に関心をもつことは、自分を守ることにもつな갑니다。新聞やニュース等から積極的に情報を得ておくよう心がけてください。

教材・教科書

教科書： 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践 [3] 災害看護学・国際看護学(第2版)
編集：日本赤十字社 事業局看護部 発行 2013年02月 定価 2,376円（本体2,200円+税8%）
ISBN978-4-260-01679-7

参考書

特になし